

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 17 日(2022.5.17)

【公開番号】特開 2020-195699(P2020-195699A)

【公開日】令和 2 年 12 月 10 日(2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2019-104829(P2019-104829)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 9 日(2022.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球に基づいて取得される判定用情報を複数記憶可能な判定用情報記憶手段と、

前記判定用情報に基づいて当否判定を行なう当否判定手段と、

図柄を変動表示させて、前記当否判定手段による前記当否判定の結果を示す停止図柄で停止表示させる図柄変動演出を行なう図柄変動演出手段と、

を備える遊技機であって、

前記判定用情報が記憶されると該判定用情報に対応付けた保留図柄を所定表示領域に表示し、前記判定用情報に基づく前記当否判定の結果を示す前記図柄変動演出が開始されると該判定用情報に対応付けた前記保留図柄を前記所定表示領域から消去すると共に該所定表示領域とは異なる特定表示領域に前記図柄変動演出用の図柄とは異なる変動中図柄を表示し、前記図柄変動演出中または前記図柄変動演出が終了する際に前記変動中図柄を消去する図柄表示手段と、

30

前記当否判定手段の当否判定に先立って前記判定用情報を確認する先読み手段と、

前記先読み手段による確認結果に基づいて、前記保留図柄および前記変動中図柄のいずれかの図柄の表示態様を変化させることが可能な前兆演出を実行する前兆演出実行手段と、前記図柄変動演出が行なわれる演出モードとして第 1 演出モードと第 2 演出モードのいずれかを選択的に設定可能な演出モード設定手段と、

を備え、

40

前記第 1 演出モードと前記第 2 演出モードとで異なる前記保留図柄を表示し且つ共通の前記変動中図柄を表示すると共に、前記前兆演出が実行された場合に前記保留図柄および前記変動中図柄のうちいずれかの図柄の表示態様を変化させる確率が前記第 1 演出モードと前記第 2 演出モードとで異なることを特徴とする

遊技機。